

# ケロちゃん通信

2018年4月 第34号



ながおか医療生協  
あたごこどもクリニック

〒940-0038 長岡市琴平1丁目2-1

電話番号 0258-36-5810

<http://www.nagaoka-iryuu-seikyuu.jp/>

## 診療案内

☆春の日差しが心地よい季節になってきました。今年もプランターのチューリップが咲くのが楽しみです。いつの日か、ちゃんとした花壇もできるとよいのですが。

☆散発的にRSウイルスや手足口病が流行っている地域もあります。ヒトメタニューモウイルスもそろそろ出始める季節です。体調を整え、予防にお気を付けください。

☆暖かくなり、花粉症もまだみられます。鼻水、くしゃみ、目のかゆみで困っている方はご相談ください。今までのスギ花粉症の舌下免疫療法（シダトレン、シダキュア）だけでなく、ダニアレルギーにも舌下免疫療法薬（ミティキュア等）もあります。適応があれば使用できますのでご相談ください。

☆4月は、新入学や新入園の季節です。お子さんにとっては環境が変化する時期です。うまく適応ができなかったり、ご心配があるようでしたら発達外来でご相談ください。

☆待合室での感染症予防のため、感染症でない患者さんの待合スペースを増やしました。予防接種・専門外来待合室と赤ちゃん待合室を別にし、2室をご利用いただけるようにしました。限られたスペースですが、可能な限りの感染症予防を行っていきたいと思います。

受付開始：一般診療は午前8時30分、午後15時30分です。

### ☆一般診療

直接来院の場合は、診療時間内に受診してください。

予約希望の場合は、前日0:00からスマホ、携帯、PCより予約システムでご予約ください。

付き添いのお母さん等が体調不良の時も、お気軽にご相談ください。緊急の場合や、特別な相談がある場合には、まずお電話ください。

☆**予防接種、乳児健診**：スマホ、携帯、PCより予約システムでご予約ください（2ヶ月後の予約までできます）。今まで通り、窓口または電話でご予約もできます。

### ☆専門外来

①**発達外来(第2・4火 13:30~15:30、予約制)** 小児神経専門医による診療を行っています。言葉が遅い、コミュニケーションがとりづらい、落ち着きがない、かんしゃくを起こしやすい等の発達障害をご心配されている方、ひきつけ、チック、夜尿症などの発達や神経に関する心配がある方は、お気軽にご相談ください。

②**アレルギー外来(第1・3金 9:00~12:00 予約可)**

アレルギー専門医による診療を行っています。食物アレルギー、ぜんそく、アトピー性皮膚炎、花粉症等で心配がある方は、ご相談ください。

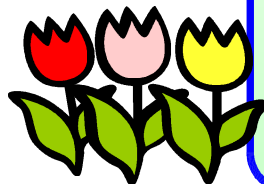
☆発達外来、アレルギー外来受診希望の場合には、電話で予約をお願いいたします。(Web予約はできません)

☆生協こどもクリニックとも協力して診察を行っています。病児保育室「すこやか」を利用希望の方は、当院を窓口にして利用することもできます。

## 4月の診療予定

・本間医師（13日午前 20日午前・午後）

・臨時休診：ありません  
20日は吉川医師休診で、本間医師の代診になります



## ヒトは見た目が大切

☆心理学の分野で有名ですが、メラビアンの法則というのがあります。  
言語、聴覚、視覚がそれぞれ矛盾したメッセージを発したとき、それぞれのメッセージがどの程度伝達力をもつかというのを研究したものです。  
その結果、視覚55% 聴覚38% 言語7%であるというものです。

☆どういうことかということ、ヒトに何かを伝えたいときは、その内容（言語）より、言うときの表情やしぐさ（視覚）、言い方や口調（聴覚）のほうが大切だということです。  
嫌そうな顔で「好き」といっても、好きだとは感じません。にこにこして親しみをこめて「嫌い」といっても、嫌いだと感じないと思います。これは、脳がその言葉の内容より表情や言い方の方を重視しているからです。ただ自閉症の傾向がある場合はこれが苦手で、聞いたまま、言葉の意味のままに理解してしまう傾向があります。表情から気持ちを読み取るということが苦手なのです。

☆これはあらゆる人間関係に当てはまることだと思います。子育ての場面でも、お子さんに何かを伝えたいときはその内容以上に表情や口調、言い方が大切だということになります。気持ちを込めて、それを表情や言い方に反映させれば気持ちはより伝わります。といっても、何を言ってもよいというわけではなく、内容も整って入る方が良いことは確かですが。  
人の脳は視覚優位で、見た目が大切です

インフルエンザなどの感染症も一段落という感じです。  
3月に新しい抗インフルエンザ薬が発売されました。1回内服するだけでよいゾフルーザ錠です。今シーズンはもう使用されることも少ないかと思いますが、来シーズンは、治療の選択肢が一つ増えることになります。



あたごこどもクリニック

